

大日塚古墳(行方市)

前方の木々の中に大日塚古墳が所在する



ここから進む/北西側から見たところ



うっすらと墳丘が見える



ここがくびれ部



左手を見たところ/後円部



右手を見たところ/前方部



これは後円部の墳頂/石祠の残骸が散らばっている



後円部から前方部方向(西方向)を見たところ



くびれ部と前方部を見たところ



これが前方部



振り返って後円部方向(東方向)を見たところ



そこでくびれ部右手を見たところ



右手に下りてくびれ部を見上げたところ



左手の前方部を見上げたところ



右手の後円部を見上げたところ



後円部の墳丘南側に立つ石碑



その少し上に横穴式石室が開口している



こんな塩梅/右手に説明坂が立っている



そこで左手を見たところ



同じく左手を見たところ



大日塚古墳 沖洲

勅使塚古墳・三昧塚古墳・権現山古墳等の沖洲古墳群のひとつである大日塚古墳は、六世紀中頃に造営された前方後円墳である。

この古墳は、霞ヶ浦東岸の台地の縁に地形を利用して築かれ、前方部が西方に位置する。主軸の長さ40m、後円部の直径30m、高さ6m、前方部の長さ10m、幅10m、高さ3mで、後円部と前方部の墳頂部は平坦で中腹に緩い段を形成している。典型的な帆立貝形古墳として県内では第六位の規模をもつ。後円部の中腹に横穴式石室が開口している。石室は大型の雲母片岩の一枚石を組み合せて造られ、奥行3m、幅2m、高さ約2mで、石室内遺物は不明である。墳丘から円筒埴輪列が出土している。尚、全国に類例をみない「猿の埴輪」はこの大日塚古墳から出土したものとされる。

平成二十一年三月

玉造郷土文化研究会

6世紀中頃に築造された前方後円墳(帆立貝形)/猿の埴輪(重要文化財)が出土した

これが横穴式石室



アップで見たところ



さて、これは後円部(右手)の東側で南方向を見たところ



後田部を見上げたところ



右手を見たところ



左手を見たところ



これは南東側から北西方向に見たところ/木々で墳丘は良く見えない



少し退いて見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/namegata_dainiti/

http://namegata.mypl.net/mp/history_namegata/?sid=19758

https://namegata.mypl.net/mp/history_namegata/?sid=38552

<http://www.emuseum.jp/detail/100618/001/002>

<http://michikusa520.blog.fc2.com/blog-entry-37.html>

<http://kofunoheya.blog.jp/archives/5028946.html>

<http://blog.livedoor.jp/naokofun/archives/9134657.html>

